

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
1	14番 東 正 幸（一問一答）			
	1. 市民が安心して生活できる、防犯対策について問う			
	(1)	市内の街頭犯罪・侵入犯罪の状況について	能美市管内の過去5年間における、街頭犯罪及び侵入犯罪の発生状況を問う。	市民生活部長
	(2)	市内における防犯等の協議会や各種団体組織について	市内において防犯に関する協議会や各種団体等の組織が現在何団体あり、どのような役割を担い連携を図っているのかを問う。	市民生活部長
	(3)	防犯カメラの有効性について	防犯カメラの設置は犯罪の抑止効果や、事件等の早期解決の一助となっている。その反面、プライバシー保護の観点から問題も生じているが、防犯カメラの有効性等をどのように捉えているかを問う。	市民生活部長
	(4)	防犯カメラ設置状況と、計画について	現在の防犯カメラの設置状況と今後の設置計画について問う。また、能美市防犯カメラ設置補助金について町会・町内会からの防犯カメラの設置要望や申請件数の現状と、その推移について問う。	市民生活部長
	(5)	各町会、町内会における街灯、防犯灯の設置状況及びLED照明導入の進捗状況について	「能美市町会又は町内会街灯（防犯灯）設置補助金交付要綱」に基づく街灯、防犯灯の設置状況や、LED照明の導入の進捗状況とまた、各町会・町内会への電気料の一部負担内訳の現状を問う。	市民生活部長
	(6)	今後の能美市の防犯対策の推進について	「能美市安全で安心なまちづくり条例」に定める、市の責務や市民が担うべき責務の周知徹底など市として今後現状以上の防犯対策の推進の取組や考えを問う。	市長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
2	3番 中村純子（一問一答）			
	1. 環境に関する取組について			
	(1)	リサイクルセンターの利用状況について	市内3ヶ所のリサイクルセンターの設置年月、敷地面積、管理運営方法はどうか。また、年間どのくらいの資源の回収量があり、その傾向はどうか問う。	市民生活部長
	(2)	能美市リサイクルセンターの課題について	「能美市リサイクルセンター施設整備検討会」でどのようなことについて検討がなされ、また、利用者からはどのような声が届いているか、リサイクルセンターが抱えている課題について問う。	市民生活部長
	(3)	能美市リサイクルセンターポイント制度について	今年度の新規事業として10月から開始されたが、市民の反応はどうか。利用状況について問う。	市民生活部長
	(4)	能美市リサイクルセンターの今後のあり方について	昨年度の「リサイクルセンター調査」を基に、リサイクルセンターのあり方をどのように捉え、今後どのような施設の更新、運営をしていく考えか問う。	市長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
3	13番 南山修一（一問一答）			
	1. 井出能美市長の今年の「漢字ひと文字」について			
	(1)	井出能美市長の今年の「漢字ひと文字」について	今年一年を振り返り、井出能美市長の思いを漢字ひと文字で表すと何という漢字になるかを問う。	市長
	2. 災害への備えについて			
	(1)	今年の冬期対策について	今年の冬期の低温に対する水道安定供給対策を問う。	土木部長
	(2)	技術職員の職員配置について	本市における技術職員数及び市の組織体制と技術職員の配置状況は適正であるか。また、技術職員の確保策と併せて、災害に備える組織体制について今後どのように注力されていくのかを問う。	総務部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
4	10番 山本 悟（一問一答）			
	1. 流域治水対策について			
	(1)	流域治水対策の進展について	樋門の設置や西川の引堤工事が始まりつつあるが、現在の進捗状況を問う。	土木部長
	(2)	田んぼダムの実証実験結果について	今年度実施した、田んぼダムによる水稻影響調査の結果並びに懸念事項について問う。	産業交流部長
	2. 大規模災害の対応について			
	(1)	能美市国土強靱化地域計画の進捗と評価、また計画の見直しについて	令和3年度から令和7年度までの5年間を計画の期間とする能美市国土強靱化地域計画の進捗と評価、さらに近年各地で発生している大規模災害を踏まえた今後の計画の見直しについて問う。	企画振興部長
	(2)	復興準備のポイントについて	大規模災害の発生時、自治体には「復興準備」が重要とされている。能美市では何をポイントにしているか。	総務部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
5	6番 山下 毅（一問一答）			
	1. 根上翠ヶ丘運動公園の具体的な取組計画について			
	(1)	地域住民や利用者のニーズについて	根上翠ヶ丘運動公園の利活用に関するサウンディング型市場調査の結果が公表されているが、それとは別に、地域の皆様からの声や意見、利用者のニーズはどのように取り入れているのか。	教育委員会管理局長
	(2)	根上翠ヶ丘運動公園再整備に向けた取組計画や将来像について	サウンディング型市場調査の結果及び地域の皆様からの声や意見、利用者のニーズをもとに、市はどのような具体的な取組計画や将来像を考えているのか。	教育委員会管理局長
	2. 能美シーサイドプレイパークにおける交流人口の拡大と地域活性化について			
	(1)	シーサイドプレイパークを活用したイベント計画について	シーサイドプレイパークを活用した交流人口拡大と地域活性化のために、今後どのようなイベントが計画されているのか問う。	教育委員会管理局長
	(2)	多目的交流スペースの現在の利用状況と今後の展望、そして地域住民にとっての役割について	シーサイドプレイパークにおける多目的交流スペースの現在の利用状況と今後の展望、そして地域住民にとってどのような役割を果たしているのか問う。	教育長
(3)	能美市でeスポーツ大会を開催せよ	地域の若者や家族連れが一層楽しめるイベントとして、能美市でeスポーツ大会を開催することで、地域の交流人口を増やすことができると考えるが、市の見解を問う。	市長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
6	7番 卯野修三（一問一答）			
	1. 物価高から市民生活をまもる経済対策について			
	(1)	能美市の経済対策について	物価高に対し、市民生活を守るため今後の能美市独自の経済対策、救済策について見解を問う。	産業交流部長
	(2)	応援特典券について	過去6度、実施し、市民にも、事業者にも効果を上げた能美市独自の経済対策である応援特典券施策を再度実施すべきと考えるが見解を問う。	産業交流部長
	(3)	農業従事者について	物価高騰が続くなか、市内の農業従事者の経営安定に対する補助金についての見解を問う。	産業交流部長
	2. 市職員の働き方改革と新規応募者の増加策について			
	(1)	市職員のエンゲージメントについて	職員が働きがいをもってポジティブに仕事を続けていくためのカギとなるエンゲージメントの高め方について、見解を問う。	市長
	(2)	市職員の副業について	職員の地域活動への積極的参加において、職員が報酬を得て地域活動に参加する際の基準を定めている自治体もあるが、職員の副業に対して能美市の現状と見解を問う。	総務部長
	(3)	兼業による民間人材の採用について	兼業による専門的分野の卓越した民間人材の採用で職員の意識改革、スキルアップに結び付くと考えるが、見解を問う。	総務部長
	(4)	中途退職者を防ぐ対策について	中途退職者を減少させるために、一部民間企業が実施し始めたオヤオリ（保護者向けオリエンテーション）など、事前に仕事内容を理解いただくための施策について見解を問う。	総務部長
	3. 奨学金返済支援制度について			
	(1)	奨学金返済支援制度について	大学卒業後、能美市に在住し、市内の企業に正社員として就業した方のために、奨学金返済支援制度を創設すべきと考えるが見解を問う。	教育委員会管理局長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨	答弁予定者
7	5番 今 尾 晃 司（一問一答）	
	1. 不登校児童・生徒への支援について	
	(1) 不登校児童生徒数の推移について	文部科学省の発表では、令和5年度の不登校児童・生徒の数は11年連続で増加し約34万6,000人余となり、前年度から約16%増え、過去最高の数値を記録した。能美市の不登校児童生徒数の推移を問う。
		教育委員会管理局長
	(2) こども相談ステーションへの相談状況について	令和6年度から健康福祉センターに整備されたこども相談ステーションへの不登校に関する相談状況について、こども本人、保護者、関係機関からの相談件数や内容に変化が見られるのか問う。
		教育委員会管理局長
	(3) こども相談ステーションによる支援の充実について	こども相談ステーションによる不登校児童・生徒への支援について、これまでに比べてどのように充実が図られているのか、事例も併せて問う。
		教育長
	(4) 先生たちが子どもに向き合うために取り組んでいる業務改善について	先生たちの働き方に時間的余裕がないという問題がある。スクール・サポート・スタッフや特別支援教育支援員等が配置されているが、余裕がない中で日々子どもに向き合うために業務の見直しや工夫など、取り組んでいる業務改善を問う。
		教育長
	2. 出産・子育て応援としての里帰り出産支援について	
	(1) 里帰り出産で一時的に能美市に居住する方への支援について	政府は少子化対策、出産・子育て応援の一環として、里帰り出産への支援を示している。里帰り出産で一時的に能美市に居住する方への支援メニューと、近年の利用者数を問う。
		健康福祉部長
	(2) 里帰り出産時の帰省先での認定こども園への入園について	二人目以降の出産で里帰り出産を望む場合、いわゆる「上の子」の保育が必要である。出産・子育て応援の観点から、能美市として、帰省先での認定こども園への入園をしやすくするため、創意工夫できることを問う。
		健康福祉部長
	3. 一般会計の翌年度繰越額の増加について	
	(1) 翌年度繰越額が増加している理由について	令和7年度予算編成方針において、「近年次年度へ繰越す事業や予算が増加している」と示されている。令和5年度決算における翌年度繰越額は41億円余であり、令和4年度繰越額21億4千万円余に対して大幅に増加し過去最大の繰越額である。繰越額が増加している理由を問う。
		総務部長
	(2) 繰越額増加による影響と抑制する方策について	繰越額は「会計年度独立の原則」の例外である。令和6年度一般会計当初予算は過去最大の275億6千万円であり、この現年予算に41億円余の繰越額が加わることで、事業執行等に影響は出ていないのか、および今後の繰越額を抑制する方策を問う。
		総務部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨	答弁予定者
8	12番 田中 策次郎（一問一答）	
	1. 石川県立あすなろ中学校について	
	(1) 石川県立あすなろ中学校との連携と情報発信について 石川県立あすなろ中学校が開校されるが、あらゆる人が学びなおせる場として、さらなる周知と連携が必要と考える。 市は、あすなろ中学校の位置づけと連携はどのように考えているか。また、市において夜間中学の石川県立あすなろ中学校の情報発信をできないか。	教育長
	2. 障がいのある子どもたちの就学について	
	(1) 障がいのある親子への支援について 市内には特別支援学校が無く、子どもが一人で通うことができない状況では親の送迎が必要となるが、親も障がいのある場合には送迎が困難となり、地元の学校に通わざるを得なくなる。小学校の養護教諭の増員も難しいとも聞いている。 このような世帯に、子どもの生活習慣、社会性、学び等の健やかな育ちを保障するため、市としてどのように親子支援・対応をしていくのか。	市長
	3. 新型コロナワクチン接種について	
	(1) 新型コロナワクチン接種の助成について 65歳未満の任意接種の対象者は現時点では全額自己負担とされ、1回あたり1万5,300円程度の接種費用となっているが、福祉施設などでは、個人で負担するにも、事業所が助成するにも小規模事業所では大変な出費となる。 医療、福祉などの従事者に、新型コロナワクチン接種の助成ができないか。	健康福祉部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
9	2番 荒井昌宏（一問一答）			
	1. 能美市の観光について			
	(1)	市民・民間事業者との連携による周遊ルートの開発や観光プログラム造成	市民・民間事業者との連携によるテーマ性を重視した周遊ルートの開発や、能美市の特色を活かした観光プログラム造成について見解を問う。	産業交流部長
	(2)	市の認知度向上の重要性について	市の認知度向上のためイベント等を通じたプロモーションが重要と考えるが、見解を問う。	市長
	(3)	能美市の観光を牽引するリーダーが必要	市の観光まちづくりプラットフォームを形成する中で、観光を牽引するリーダーが必要であると考え、見解を問う。	産業交流部長
	(4)	道の駅的な観光物産館などお土産品が買える場所が必要	道の駅的な観光物産館など観光客がスムーズにお土産が買える場所が必要であり、その施設内に観光物産の拠点を設置すべきと考えるが、見解を問う。	産業交流部長
	2. 市内自主防災組織について			
	(1)	自主防災組織の設置と取り組みの現状は	市内各町会・町内会の自主防災組織の設置状況と地域において自主防災組織が果たす役割について問う。	総務部長
	(2)	各町会・町内会の防災士の活動の現状は	地域防災力の向上のため防災士の育成に手厚い対応をしているが、防災士の活動の現状を問う。	総務部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
10	4番 澤田 貞（一問一答）			
	1. 民主主義を守る選挙について			
	(1)	低迷する投票率について	10月27日に投開票された衆院選挙。大きな争点となった「政治とカネ」の問題、加えて能登半島地震、9月の豪雨災害で選挙を取り巻く環境変化があった。政治家の立ち振る舞いは言うに及ばず、民主主義の原点を取り戻す選挙と、投票率UPに向けた取組について問う。	総務部長
	(2)	兵庫県知事選から得る事について	再登板となった斎藤兵庫県知事を巡る一連の出来事について、石川県政の裏方で黒子役に徹していた福田副市長の、率直な思いや感想を問う。	副市長
	(3)	来春の能美市長選について	能美市長選挙は来年2月2日に投開票されるが、能美市民の共感を呼び、職員とともに能美市政を舵取る市長としての心意気と、決意を問う。	市長
	2. 鍋谷川の治水対策について			
	(1)	能美市治水プランについて	この二年間に相次いで体験した豪雨災害と能登半島地震を教訓に、今後も起こり得る様々な豪雨・浸水被害からの備えとなる「能美市治水プラン」の進捗状況を問う。	土木部長
	(2)	鍋谷川の治水対策について	鍋谷川の治水対策工事について、市民の安全安心のためのスケジュールを示せ。	土木部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
11	15番 近藤 啓 子（一問一答）			
	1. 地球温暖化対策について			
	(1)	公共施設での取組について	公共施設での温室効果ガス削減は、2030年で9759t CO ₂ としているが、重点課題であるLED化、太陽光発電の設置、公用車のEV化についてそれぞれの現在までの投資効果と今後の計画について問う。	市民生活部長
	(2)	家庭での取組について	温室効果ガスを72%削減する大きな目標であるが、市民への意識化が重要である。省エネ住宅、太陽光の導入、木質ペレットの導入など現状と課題について伺う。さらに再エネや省エネ対策として太陽光への補助金の上乗せや窓フィルム補助などメニューの拡大も必要と考えるがどうか。	市民生活部長
	(3)	市の推進体制について	市民や産業分野等とも一体となって、本格的にゼロカーボンシティを目指す体制と予算が必要である。全体をリードする事務局体制の強化と推進する予算を強化すべきでないか。	市長
	2. 福岡保育園の民営化について			
	(1)	認定こども園に関する各委員会及び執行部検討経緯を聞く	平成30年度の「能美市子どもの未来を考える認定こども園のあり方検討委員会」及び「子ども子育て認定こども園委員会」の報告から、第一次計画の評価検証、財源の還元、民営化した認定こども園の自己評価と第三者評価、第2次計画は作られているのか。福岡保育園はどのような位置づけとなるか。また、財政的課題から見て、今後も民営化を進めるのか。	健康福祉部長
	(2)	公立認定こども園で、子どもたちに豊かな保育を	公立認定こども園は地域での子育ての核となる役割を持っている。配慮の必要な子どもも受け入れ、地域とともに育つ環境づくりにも公立認定こども園での保育を推進すべきでないか。	健康福祉部長
	3. （仮称）能美丘陵地開発について			
	(1)	（仮称）能美丘陵地開発事業の進捗状況について	昨年6月議会では、「事業計画は策定中」の答弁であったが、土地の契約含め事業計画は策定されたのか、進捗状況を問う。	土木部長
	(2)	自然環境調査の結果について	調査結果を「公表しない」から「公表」への変更に至るまでどのような検討がされたのか、その変更の要因を問う。また、アベサンショウウオの存在が確認されたが、絶滅危惧種ⅠAに属するものであり、種の保存に全力を尽くすことが必要ではないか。	産業交流部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨			答弁予定者
12	8番 北村周士（一問一答）			
	1. 所得の基礎控除の引き上げに伴う影響について			
	(1)	能美市への影響額の試算を問う	給与所得者の所得税の非課税枠である、いわゆる「103万円の壁」を178万円とする案について、単純に試算した場合、能美市への影響額はどの程度か。	市民生活部長
	(2)	税收減による行政サービスの影響と国への要望は	現状は国において議論されている段階ではあるが、学校給食費の無償化など、国の財政的な補てんがない市独自の事業も進めている。どのような範囲に影響が懸念されるか。また、国に対してはどのような対応を求めていくつもりか。	副市長
	2. 「こども誰でも通園制度」事業について			
	(1)	令和8年度の実施へ向けての体制づくりを問う	令和8年度より全国で実施される予定の「こども誰でも通園制度」の実施へ向けて、市ではどのような体制づくりを行い、事業実施へ向けて動き出す予定か。	健康福祉部長
(2)	事業実施にあたってのメリットとデメリット、それへの対応策を問う	全国的に保育士不足が課題となっているなか、新たに保育現場でのスタッフの負担増が懸念される。保育士の安定的な確保、保育の質の維持、財源の確保、障がいの有無に関わらない対応など、課題は多い。市として事業を通じたメリット、デメリットをどのように捉え、どのように対応していく考えか。	健康福祉部長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨	答弁予定者
13	9番 仙 台 謙 三（一問一答）	
	1. 聴覚補助器等の積極的な活用への支援について	
	(1) 「障害にいたらない難聴に関する取組」について	厚生労働省作成資料の「障害にいたらない難聴に関する取組について」や「難聴に関する関係部局の取組状況」は、自治体としてどのように取り組んでいくか。
	市長	
	(2) 聴覚補助器の購入費用の助成制度の創設について	聴力の低下に悩む高齢者が、医師や専門家の助言のもとで、自分に合った補聴器を積極的に活用できる環境を整えるために、購入の費用を助成する制度を創設せよ。
	健康福祉部長	
	2. 片目（1眼）失明者への福祉制度について	
	(1) 能美市における片目（1眼）失明者への対応について	これまで、片目失明者に対する不具合や不利益などの声や情報が寄せられたことはあるか。また、県や国に対して、片目失明者への福祉制度などについて、問合せや要望などを行ったことはあるか。
	健康福祉部長	
	(2) 片目（1眼）失明者への福祉制度の創設について	能美市として、片目失明者に対する福祉制度などについて、国の動向を注視する以上の働きが望まれるが、どのような対応が可能であるか。
	健康福祉部長	
3. 学校図書館について		
	(1) 学校図書館の図書購入予算の適正執行について	第5次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」において、文部科学省が提示する措置額と実際の執行額との比較、および市内各校における予算措置額のバラつきについて問う。
	教育委員会管理局長	
	(2) 学校図書館の蔵書の把握について	教育委員会や各学校の教職員が学校図書館の蔵書の数や質、種類、書籍の劣化状態などの情報共有を行うことが必要であると考えているが、市の見解と取組を問う。
	教育委員会管理局長	
	(3) 学校図書の充実について	学校図書の充実について、どう取り組んでいくのか、市の見解を問う。
	教育長	